

水稲V溝乾田直播栽培の生育状況（5月10日現在）

■ 耕種概要等

- ① 品 種 まっしぐら
- ② 圃場造成 秋季耕起、代かき
- ③ 種子処理 種子消毒後に浸種、キヒゲン R2 フロアブル塗抹
- ④ 播種機 V溝播種機
- ⑤ 播種日 4月23日
- ⑥ 播種量 乾籾 10kg/10a 程度
- ⑦ 施肥量 窒素成分 10kg/10a 程度（LP100）

■ 生育状況



先日の雨で圃場には水たまりができています。土壌表面をみると、今年の春に播種したイネはまだ出芽していませんが、前年秋にこぼれ落ちた種子からは出芽がみられています。

土壌を掘り起こしてみると順調に芽が出てきていることから、まもなく出芽がみられるものと推察されます。



圃場内ではスズメノテッポウなどの雑草が成長してきています。

■ 栽培管理のポイント

4月以降は低温となった時期もありますが、総じて高温に経過しています。このため、圃場の土壌条件（湿り気）などにもよりますが、雑草の成長は例年よりも早まる可能性があり、除草剤の散布時期が遅くならないように注意が必要です。

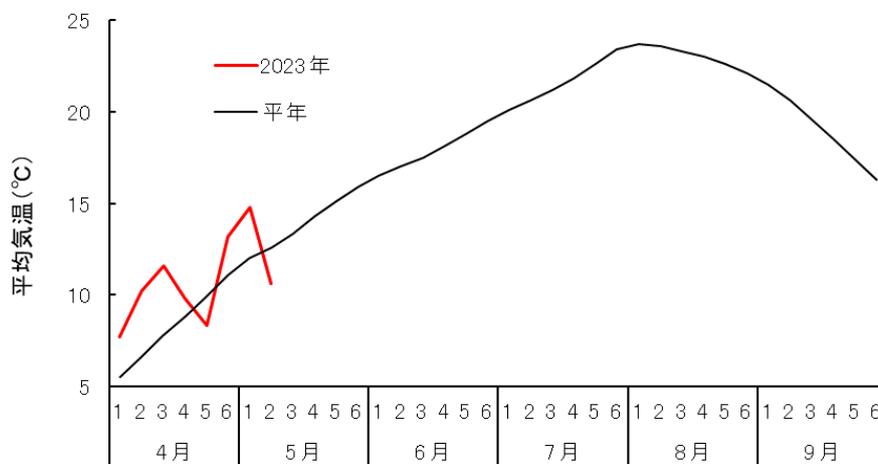


図 黒石アメダスの日平均気温（半旬別）

農林総合研究所のV溝乾田直播栽培圃場では、ラウンドアップマックスロードなどの非選択性茎葉処理剤は使用せず、5月下旬頃にノミニー液剤を散布する予定です。

スズメノテッポウ等の畑雑草などが多い場合には非選択性茎葉処理剤が有効ですが、イネが出芽する前に散布する必要がありますので、圃場の状況をよく確認してください。